

Campus Today



松本歯科大学

発行所 学校法人 松本歯科大学

長野県塩尻市広丘郷原1780

☎ (0263) 52-3100

www.mdu.ac.jp

1部60円

自ら学び 人の心を慮り 研鑽に励め

松本歯科大学・衛生学院入学式を挙行

在学生がオープニングセレモニーで歓迎

陽春の穏やかな天気恵まれた4月5日(木)、2018年度松本歯科大学(歯学部)および大学院(歯学独立研究科)、衛生学院(歯科衛生工学科)の入学式が本館7階講堂で挙行された。今年は3月の暖かさが影響して染井吉野が例年よりも早く開花。入学式当日は満開の桜が新入生総勢143人を迎え、在学生によるオープニングセレモニーも行われて、希望と活気があふれた式となった。

入学式で挨拶に立った矢ヶ崎雅理 ながら歯科医師を目指す同級生を皆で
事長は、「これから歯学部は6年間、協力して支え、6年後には歯科医師国
衛生学院は3年間、大学院は4年間と 家試験で100パーセントの合格とな
それぞれの目指す道があります。入学 るようがんばりましょう」と要望した。
したからには石に齧りついてでも決し 本学常務理事・特命教授で内閣官房
て諦めず、立派な歯科医師、歯科衛生 参与の飯島 勲氏は、「現在、65歳以上
士、博士になってください」と激励し の高齢者は全国で約3500万人いま
た。また歯学部新入生に聴覚障がい者 す。要介護者や認知症の方々が増えて
がいることに触れ、「ハンデを抱え くと予測されており、重度の要介護



川原学長の告辞を敬聴する新入生たち



在学生有志が校歌を合唱して歓迎

者であつても口から美味しい食
事ができるようにする運動や取
り組みが広がっています。口の
衛生状態の管理が生活の質を
えるきっかけとなり、まさに皆
さんがその鍵を握っているの
です。患者さんに寄り添い生活
の質の改善とともに考えられる
頼れる歯科医療人となってく
さい」と祝辞を述べた。

また川原一祐学長は、「建学の
理念の精神は自ら学び、人の心
を慮り、研鑽に励むというもの
です。私たち教員は、学生の各
個性に応じて愛を持って接する
育てるといふ姿勢を貫いてい
ます。歯科医学は科学です。信
じるものは救われるという宗教
とは逆に、まず疑ってください
。なぜ」と自ら調べる、それが
学生の基本です。皆さんの成長
を楽しみにしています」と告辞
した。

歯学部新入生を代表して前田
風華さんは、「松本歯科大学生
としての誇りを持ち、建学の理
念をわきままえ、歯科医師の理想
を目指し、初心を忘れることな
く向上心をもって勉学に励むこ
とを誓います」と力強
く宣誓した。

開式前のオープニン
グセレモニーでは、在
学生有志25人が、合奏
隊と合唱隊による校歌
斉唱や沖縄県の伝統芸
能「エイサー」演舞、
バトントワリングなど



宣誓する歯学部新入生の前田さん

ベトナムホーチミン市代表团一行が表敬訪問

医療・教育分野の交流促進に向けて意見交換

4月9日(月)、ベトナムホ
ーチミン市よりゲン・タイン・フ
ォン市人民委員会委員長一行
が本学を表敬訪問した。

訪問団一行は総勢32人。大学
到着後、ゲン・タイン・フ
ォン委員長をはじめ、同委員会の
宣伝教育部長、官房長、外務局
局長、ホーチミン経済大学学長
らが、矢ヶ崎雅理理事長、川原一
祐学長、矢ヶ崎良子法務本部長、
矢ヶ崎裕病院統括者、廣瀬國基
事務局長らと面談した。

矢ヶ崎理事長は、本学の歴史
を説明し、創立者・矢ヶ崎康先
生が大学創立記念誌の一節にホ
ーチミンの言葉「私は困難
を怖れない。困難は成功への道
しるべだから」という言葉を引



ゲン・タイン・フォン委員長(右)と談笑する矢ヶ崎理事長

用したことを紹介し、「創立者が
存命ならば、皆さんの来学をど
んなにか喜んだことでしょう」
と歓迎した。また、「本学の歯学
部および衛生学院にベトナムか
ら留学生も入学してほしい」
と希望を述べた。

ゲン・タイン・フォン委員
長は、「今回は長野県とホーチミ
ン市との交流活動の一環として
主に農業・貿易・観光分野の視
察に訪れましたが、急速に経済
発展するベトナムにとって医療
および教育分野の交流が今後重
要になってきます。具体的な交
流促進を検討していきたい」と
応じた。

(学事室 室長 酒井康成)

お天気歳時記

元日本気象協会調査役
お天気コンサルタント

有り賀 淳し



南日本の人々にはもう忘れか
けたサクラは、この連休のころ
ツバメとともに津軽海峡を渡っ
て、春の遅い北海道も爆発的に
春が訪れ、そのまま一気に初夏
を迎える。

関東以西では、日ごとに色を
変える若葉につつまれてツツジ
やフジが見ごろとなる。4月か
ら5月にかけて、一年中の花の
大部分が日本中に咲きみだれる。
姿を消した冬鳥に変わって、
野山には夏の常連オオルリ、キ
ビタキなどが日に日に数を増し
てくる。

落ちつきのなかった春の天気
も落ちつきはじめ、下旬に近づ
くとツツの前のぶれのぐずついた
天氣が現れやすい。
5月はまた、晩霜のおりるほ
ど冷え込む日も多く、晩霜の被
害の要注意の季節。

空に浮かぶ入道雲は夏のきざ
しだが、山はまだ雪の降る寒さ
で、雪の降る寒さとナダレをお
こす暖かさがいりまじる季節で
もある。

よく「五月晴れ」といわれる。
5月はぬけるような青空のつづ
くこともあるが、年によつては
下旬に入って天氣がぐずつきや
すい。梅雨が近いためだろう。

昔の人は初夏の雨を伴う南風
を「つばな流し」と美しく呼び、
卯の花に降りそそいでやまない
雨を「卯の花くたし」と呼び、
「竹のこ梅雨」とも呼んでいた。

晴れれば気持ちのよい5月は
雨期に入る前にあたり、月末に
入れば、早い年には「梅雨の走
り」が始まる。

コマドリ、オオルリの声も聞
かれる。青葉のかけで常緑樹が
盛んに古葉を落とし始める。

理事会報告

事業計画を基に効率的な大学運営を推進

学校法人松本歯科大学の第187回理事会、第130回評議員会が3月29日（木）に開催され、2018年度事業計画および予算案、諸規程一部改正などの案件が審議され、いずれも満場一致で承認可決した。



理事会で挨拶する矢ヶ崎 雅理事長

をモットーとし、学生が将来歯科医師として社会に貢献し、歯科医学の発展に寄与することが出来る人材の育成を目指している。

また、2014年3月に「松本歯科大学アクションプラン2015」を制定し、2015年度から2021年度にかけた具体的目標を示した。このアクションプランを実現するために、3つのポリシーを基盤とした教育を全学共通の方針として実行する。

①歯学部教育の質の保証と向上

②退学者、除籍者の低減

③標準修業年限内での卒業率の向上

④歯科医師国家試験合格率の向上

2. 大学院歯学独立研究科・総合歯科医学研究所

松本歯科大学大学院歯学独立研究科は、学部の講座を主体とした研究科ではなく、総合歯科医学研究所を基盤にした独立研究科で、2002年12月19日に設置認可を受け、2003年4月1日に開設し、本年度で16年目を迎える。

大学院は、口腔生命科学の理論および応用を教授研究し、その深奥を究め、もって文化の進展に寄与することを目的とし、創造性豊かな優れた研究者を養成するとともに、社会環境に柔軟に対応できる豊富な学際的知識と専門的技術を修得した境界型研究者・歯科医療職人を養成することを目指している。

松本歯科大学（歯学部）は、1972年1月29日に設置認可を受け、同年4月1日に開設し、本年度で47年目を迎える。

1. 歯学部

歯学部は、建学の理念を具現化した人間教育全体を教育目標とし、人間としての倫理に基づき、まず「良き歯科医師となる前に良き人間たれ」という教育方針

3. 衛生学院

松本歯科大学衛生学院は、1976年2月14日に歯科衛生士養成所の指定を受け、同年4月に開校した。1977年3月9日には、専修学校として設置認可を受け、本年度で42年目を迎える。

衛生学院は、歯科衛生士に必要な知識と技術を教授するとともに、豊かな人格を養い、社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的としている。

今日、人口の高齢化が進行するなかで、老後のQOLを支える柱として、歯と口の健康の意義があらためて認識されるようになってきた。口腔ケアの担い手として、歯科衛生士は「最も求められる医療専門職」のひとつといわれ、その活動分野はますます広がりを増している。

チーム医療の推進が強調されるなかで、歯科医師をはじめとする多くの職種と協働して専門性を発揮できる質の高い歯科衛生士を送り出していけるように、教育内容の一層の充実を図っている。

①入学定員の充足
②歯科衛生士国家試験の全員合格
③臨床実習の強化

①歯科部門
②部門別チーム医療体制の強化推進
③チェアへの効率的利用による

①入学定員の充足
②歯科衛生士国家試験の全員合格
③臨床実習の強化

役職教員

理事長 矢ヶ崎 雅



学長 川原 一祐



歯学部部長 宇田川信之



病院統括者 矢ヶ崎 裕



教務部長 中村 浩彰



衛生学院院长 笠原 悦男



医科病院長 前島 信也



大学誌編集主幹 笠原 浩



大学院歯学独立研究科長 総合歯科医学研究所長 高橋 直之



図書館長 川上 敏行



歯科病院長 川村 仁



2018年度予算

2018年4月1日～ 2019年3月31日

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科 目	予算金額	科 目	予算金額
学生生徒納付金収入	2,180,140,000	人件費支出	2,307,000,000
寄付金収入	11,500,000	教育研究経費支出	1,360,060,000
補助金収入	412,000,000	管理経費支出	675,660,000
資産運用収入	0	借入金等利息支出	0
事業収入	1,722,850,000	借入金等返済支出	0
借入金等収入	0	施設設備関係支出	555,000,000
その他の収入	1,283,870,000	その他の支出	1,085,500,000
前年度繰越支払資金	1,265,664,572	予備費	0
		次年度繰越支払資金	892,804,572
収入の部合計	6,876,024,572	支出の部合計	6,876,024,572

率的な運用を行う。

②診療科・診療部門と管理部門が収支等の情報を共有し、収支目標達成に向けた取り組みを推進し収支の改善を図る。

③摂食嚥下機能リハビリテーションセンターの運営体制整備

④電子カルテ関連のシステムのリリース

⑤臨床稼働率の改善

⑥首から頭部の疾患治療に特化した急性期病院づくりの推進

⑦業務委託の見直し

⑧公的研究費の管理と研究支援を優先させつつ、効率的な管理運営を行う。キャンパス内各棟の耐震化に向け必要な措置を検討実施する。

①耐震化事業

②省エネルギー対策

③施設・設備の老朽化に伴う維持管理

④図書館資料の適切な蔵書構成の構築とその提供、および利用者の増加と内容の充実

⑤新卒採用を実施し、年齢バランスを考慮した人員体制を整え、日常定期的な業務の効率化や職員の質的水準向上のためのSD実施

⑥ホームページの充実、効果的なウェブマーケティング等による学生募集・広報活動

⑦知的財産の適正なライセンス活動に努め、産学連携による特許出願件数の増加

⑧公的研究費の管理と研究支援を優先させつつ、効率的な管理運営を行う。キャンパス内各棟の耐震化に向け必要な措置を検討実施する。

⑨新評価システムに対応した自己点検・評価体制への変更

⑩年間安全衛生計画に基づく安全衛生活動の実施

